

(4)-1 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

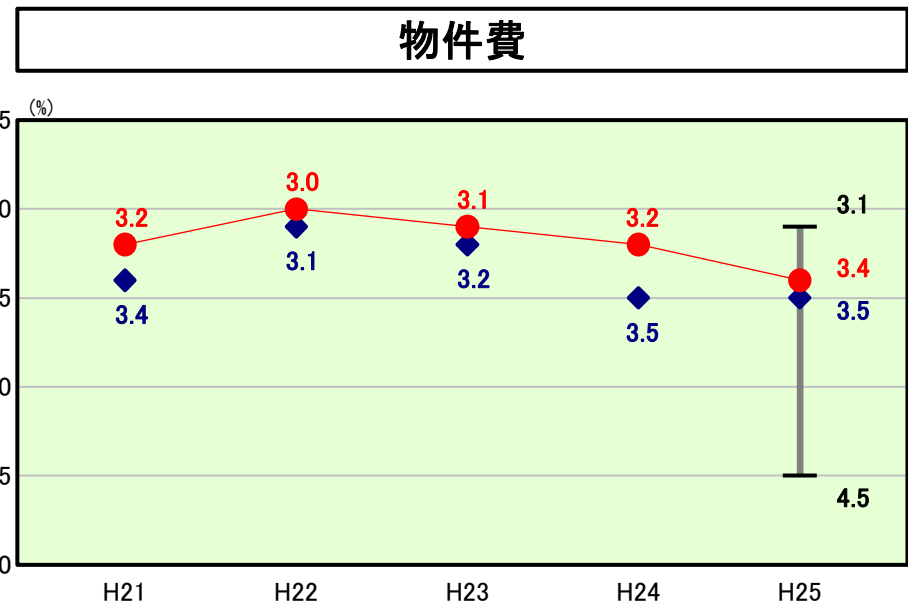
和歌山県

経常収支比率の分析

人口	1,012,236	人(H26.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	1,006,455	人(H26.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	4,726.32	km ²	実質公債費比率	12.1	%
歳入総額	597,882,161	千円	将来負担比率	189.5	%
歳出総額	583,271,307	千円	グループ	H21 D H22 D H23 D	
実質収支	5,488,632	千円	(年度毎)	H24 E H25 E	
標準財政規模	287,394,753	千円			



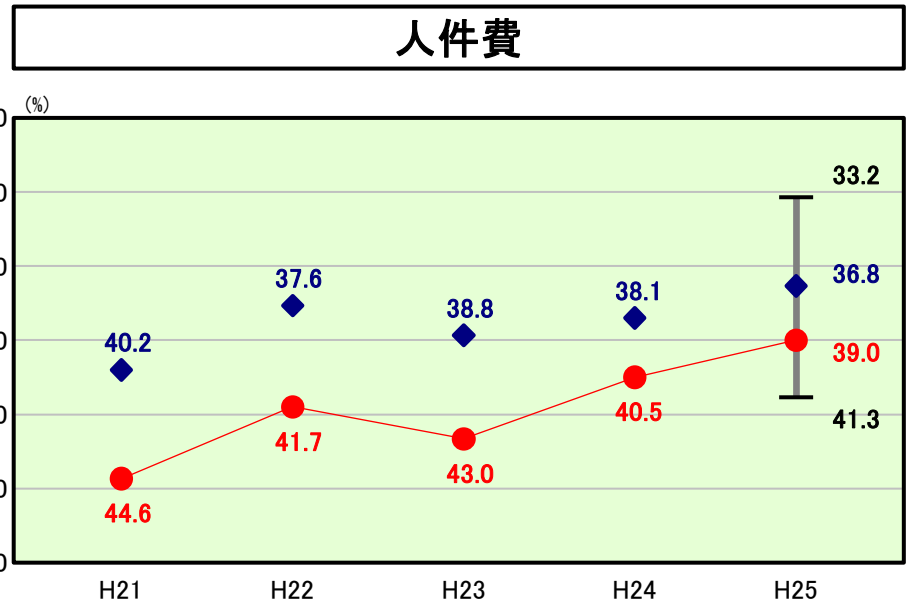
※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載している。



グループ内順位 3/10 都道府県平均 3.3

物件費の分析欄

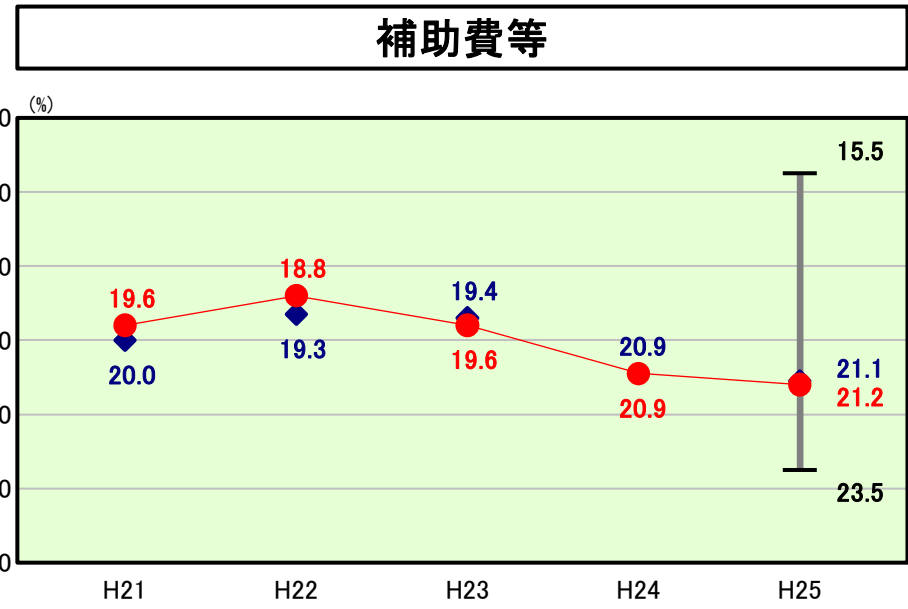
リニューアルした国体関連施設の維持管理経費の増加等により、前年度から0.2ポイント上昇しており、グループ内平均値を0.1ポイント下回っている。引き続き効率的な事務執行等により物件費の抑制に努めていく。



グループ内順位 8/10 都道府県平均 38.6

人件費の分析欄

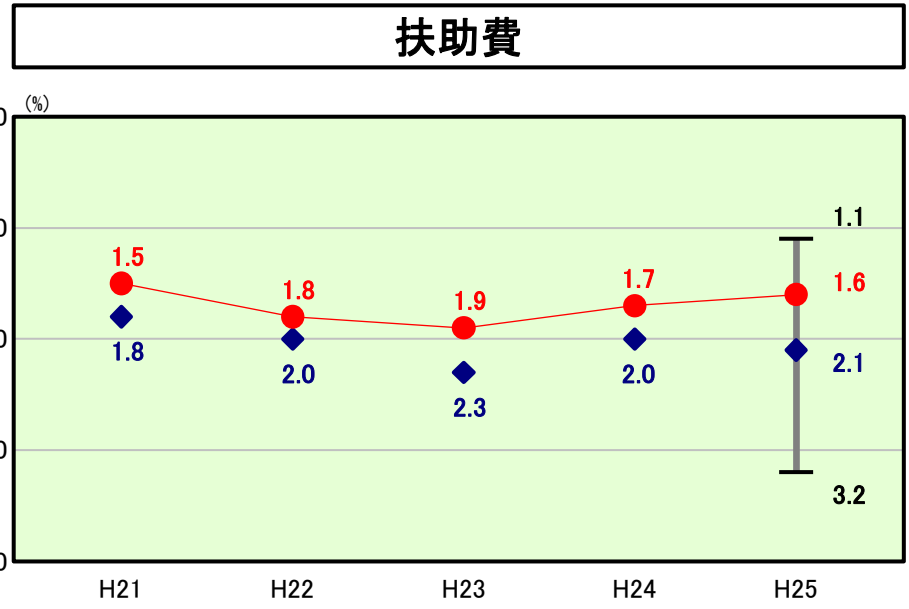
「新行財政改革推進プラン」に基づく定数削減による職員給の減等により、前年度から1.5ポイントの減少となった。半島という地理的な条件により職員の分散配置が必要なことからグループ内平均値を上回っている現状にあるため、引き続き人件費の抑制に努めていく。



グループ内順位 5/10 都道府県平均 24.4

補助費等の分析欄

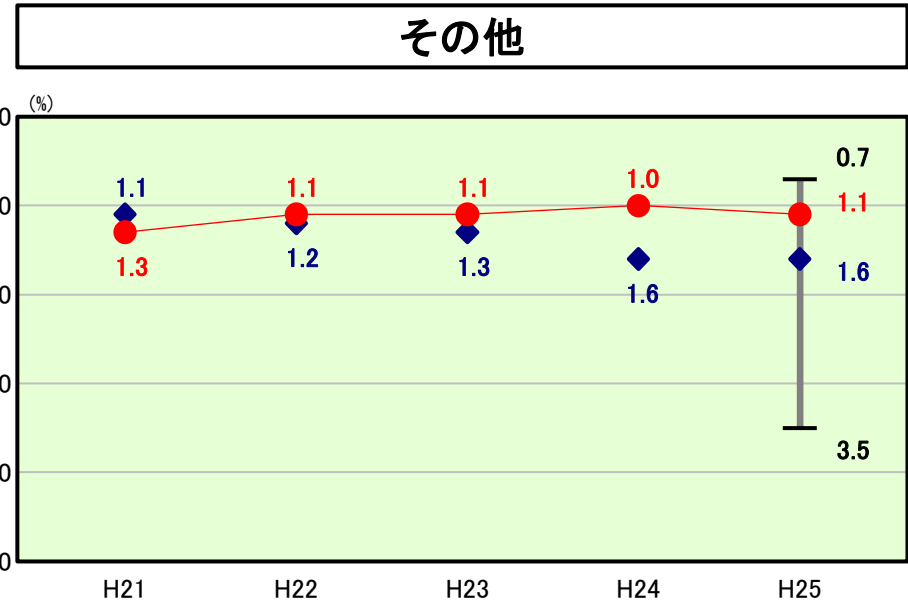
前年度に比べて0.3ポイントの上昇となっており、その主因は介護保険に係る負担金等の増加によるものである。引き続き、各単独補助金等について受益者負担の観点からの見直しを検討するなど、一層の抑制に努めていく。



グループ内順位 3/10 都道府県平均 1.9

扶助費の分析欄

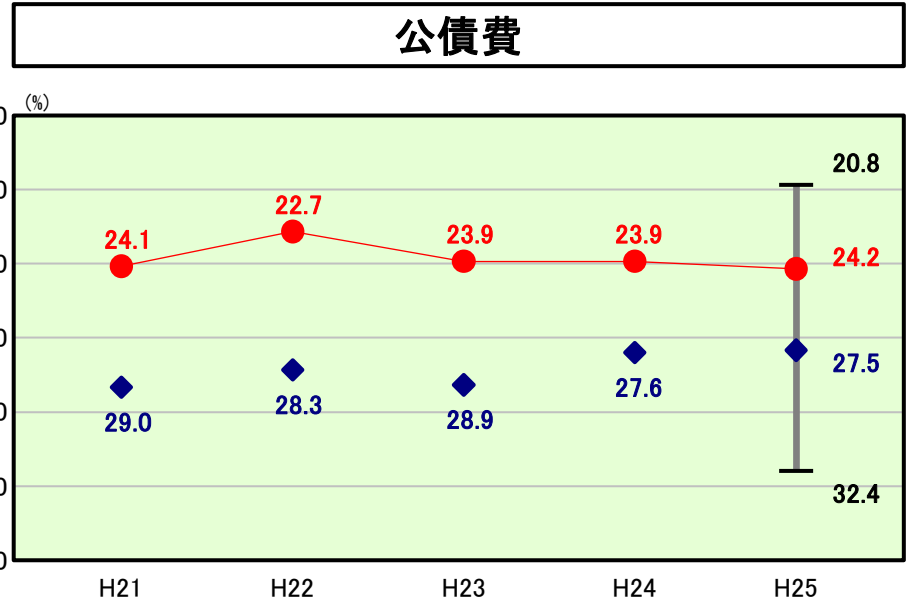
児童福祉施設給付費の減少等により前年度に比べ0.1ポイントの減となっており、グループ内平均値を0.5ポイント下回っている。引き続き制度の適正な運用に努めていく。



グループ内順位 5/10 都道府県平均 1.2

その他の分析欄

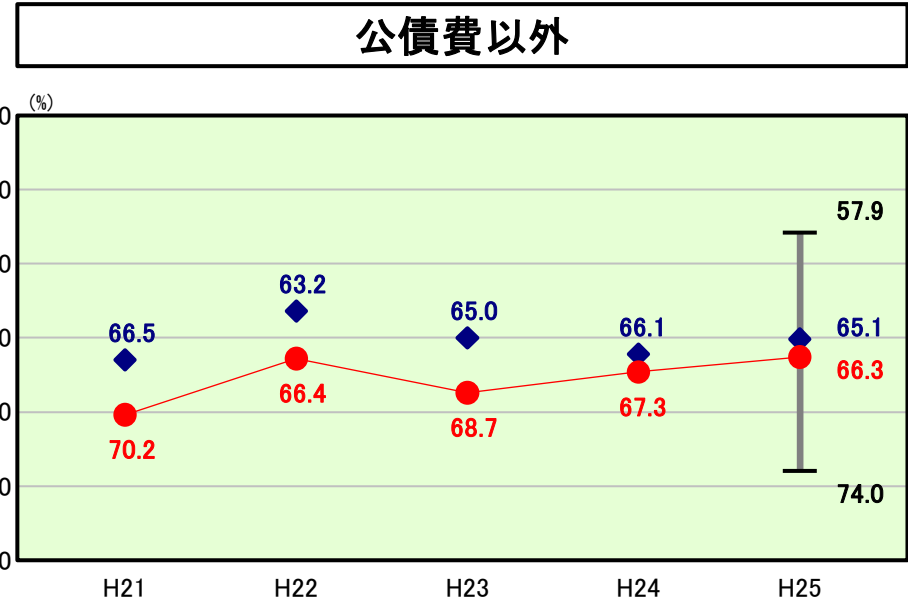
グループ内平均値を下回っているが、警察装備品の維持補修費が増加したこと等により、前年度に比べ0.1ポイント悪化している。今後、インフラの老朽化により、財政的な負担が増大するおそれがあるため、計画的かつ予防的な維持補修を行うことで費用を平準化し、コストの縮減に努めていく。



グループ内順位 2/10 都道府県平均 23.6

公債費の分析欄

公債費がグループ内平均値を大きく下回っているのは、繰上償還を行う等、将来の公債費負担軽減に努めてきたことや、出来る限り交付税措置のある地方債に発行を限定し、県債発行の抑制に努めてきたこと等による。臨時財政対策債等の償還額が増加したことにより前年度から上昇しており、今後とも事業の効率化・重点化による県債発行額の抑制により、公債費負担の軽減に努めていく。



グループ内順位 7/10 都道府県平均 69.4

公債費以外の分析欄

社会保障関係費が年々増加傾向にあるものの、職員数の見直し(対前年度123人の減)等に伴う人件費の減少等により、前年度に比べ1.0ポイント減少した。グループ内平均値を上回っている現状にあるため、引き続き諸経費の抑制に努めていく。